

内部評価の結果

【事前評価2】太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業

【評価結果】

計画どおり実施

【評価理由】

コンテナターミナルは、コンテナクレーン(以下「クレーン」という)を用いて、コンテナ船による海上輸送とトラックなどの陸上輸送の積み替えをおこなっており、市民の生活を支える物流基盤となっている。

太刀浦第2コンテナターミナルは市全体の3分の1のコンテナを取り扱う重要な港湾施設であるが、クレーンは設置後31年から27年を経過しており老朽化が著しく、安全性の低下による事故や設備故障が懸念されている。

また、近年はコンテナターミナル供用開始時に比べ入港船舶が大型化しているため、現状に合ったクレーンの規格に見直しを行う必要がある。

以上の経緯や課題を踏まえ、入港船舶の大型化に合わせたクレーンの規格に見直しを行い、利用者への安全な設備の提供と安定した物流サービスの提供のため、クレーン更新事業の実施を対応方針案として決定した。

なお、公共事業調整会議では、更新後のクレーンに係る収支予測にあたり、供用開始後のクレーン使用料収入及びコンテナ取扱個数の見通しを分かりやすく表現すべきとの意見があった。

クレーン使用料収入については、近年の収入実績及びコンテナ取扱個数の増加率を基に算出し、供用期間中は毎年同額で一定と仮定して収支予測を立てることで十分達成可能な見通しとしているため、その旨を事前評価調書等に明記した。